

## ワタカ標識種苗生産放流結果

根本 守仁

### ◆背景・目的

琵琶湖固有種であるワタカは、その食性から水草大量繁茂の抑制に効果があることが明らかとなっているが、その資源は著しく減少している。このため、2002年度から種苗放流に取り組んでいる。標識放流により移動、成長、生残等を明らかにしていくため、標識種苗を生産して放流した。

### ◆成果の内容・特徴

- ・採卵は、自然採卵およびホルモン処理による人工採卵により実施した。6月25日～8月4日に4回行い、得られた孵化仔魚は、2,886,000尾であった。
- ・孵化後2～約40日目の飼育を「初期生産」とし、屋外池に張った網イケス内で飼育した。この期間の生残率は5.06%で、146,000尾の稚魚が得られた。
- ・次に、放流までの飼育を「中間育成」とし、屋外池に収容して飼育した。この期間の生残率は83.42%であった。結果として、121,800尾の種苗が生産された。
- ・放流結果を表に示した。平成20年3月4日に、南湖2水域へ32,300尾、西の湖へ89,500尾の種苗を放流した。なお、標識方法はALC標識としたが、南湖と西の湖の放流魚でALC標識のパターンが相互識別可能な標識とし、さらに放流時点での体長の推定が可能となるように放流直前に標識を施した。

### ◆成果の活用・留意点

今後、放流効果調査を実施することにより、放流魚の移動状況、生残したワタカの放流時点でのサイズと再捕率との関係、放流時の体長と再捕時の体長との関係等について検討したい。

表 平成19年度ワタカ放流結果

月日	水域	尾数(尾)	平均体重(g)	ALC標識
2008/3/4	西の湖(安土町下豊浦地先)	14,100	0.44	R1+R1
2008/3/4	西の湖(安土町下豊浦地先)	10,600	0.56	R1+R1
2008/3/4	西の湖(安土町下豊浦地先)	18,400	0.51	R1+R1
2008/3/4	西の湖(安土町下豊浦地先)	17,500	0.57	R1+R1
2008/3/4	西の湖(安土町下豊浦地先)	28,900	0.44	R1+R1
	西の湖合計	89,500		
2008/3/4	琵琶湖南湖(草津市北山田地先)	20,000	0.59	R2+R1
2008/3/4	琵琶湖南湖(草津市北山田地先)	12,300	0.68	R2+R1
	琵琶湖南湖合計	32,300		
	合計	121,800		

\*本報告は水産庁による平成19年度湖沼の漁場改善技術開発委託事業の成果の一部である。